生徒会活動でいじめの起きにくい人間関係作りを

県内の小中高生がいじめについて考える

子どもいじめサミットオンライン開催

12月27日に『鹿児島県いじめ問題子どもサミット』が開催されました。県内の小学生から高校生や保護者が集まり、武岡中学校の生徒会本部役員からも四名がオンラインで参加し、いじめについて真剣に考えました。

まず、いじめといじりの違いについての動画を視聴し、他の中学校の生徒たちと意見交換を行いました。「人の弱みや相手が不快に思うところに達すると、いじりがいじめになる。」「ノリでやっていると、友達がわかっていれば少しは良いが、友達が本当のことだと思って悲しくなることは、いけないと思う。」などの意見が出されました。

次に、代表校の取り組みも紹介され、出水市立野田小学校では、『野田っ子オリンピック』や『野田っ子選手権』といった児童会が中心となった運動会のような行事で、学年を超えた交流を行っていました。また、日置市立伊集院中学校では、学校内だけでなく地域とのつながりを育む活動が行われており、医療従事者に感謝の気持ちを込めて、メッセージカードを贈る取り組みを実施していました。奄美市立芦木部小中学校では、追い込み漁や、田植え、稲刈りなど、自然が豊かな地域の特色を生かした活動を行うことで豊かな人間関係作りに努めているそうです。

今回の研修を通して感じたことは、いじめは起こってから解決するのではなく、起こさないための人間関係作りが、とても大切だということです。良い人間関係作りは、いじめが起きにくい学校を作ることにつながると思います。これからも、青少年赤十字活動などを通して、だれもが思いやりの心をもてるような生徒会活動に、皆で取り組んでいきたいと感じました。（生徒会副会長）

踏み出す力 行動は気づきに変わる

発行者
武岡中学校生徒会本部
ブログはこちら↓

冬休みの学習時間調査結果 平日は90分以上学習を

学習部が実施した12月24日～1月10日までの冬休みの学習時間調査の結果によると、1日の平均学習時間は、3年生が6・22時間、2年生が2・32時間、1年生が2・22時間、であったことが分かりました。3年生は、入試前の大事な時期ということもあり、1・2年生の3倍近く学習時間が確保されていました。一方で、1年生と2年生との学習時間に大きな差は見られず、次の学年への進級に向けて学習時間を少しずつ増やしていくことが課題だと思います。

2月7日からは学年末テストがあります。平日は90分以上学習し、テスト前だけでなく、日頃から家庭学習の習慣を定着させましょう。（学習部部長）

合言葉は「踏み出す力」

1階中央階段横に生徒会スローガンが掲示されました。高さ60センチ、幅1メートル70センチで、生徒会長によって書かれ、登下校時に必ず目にする場所にあります。これから全校生徒に親しまれ、いつも心の中にあるような言葉になるとうれしいです。（生徒会副会長）

時間を意識することは見通しをもつこと

本格的に三学期がスタートして約一か月がたちましたが、冬休みの感覚から抜け出し、生活リズムは安定しましたか？まだ、冬休みの時間の感覚で起床してる人もいるのではないでしょうか？時間にだらしなくなってしまうと、それ以外の部分もだらしなくなってしまう傾向があります。

「時は金なり」というように時間は、お金と同じくらい貴重なものです。時間を無駄にせず有効に使うためには、時計を見て一日の時間配分を考えることが重要です。例えば「始業二分前だから、着席しよう。」など、先を見越した行動が時間の有効活用につながります。このことができれば、自分自身に余裕ができ、充実した日々の生活を送ることができるでしょう。生活部の二月の目標は「時計を見て行動する」です。ルーズな部分をなくし、先の見通しをもって時間を意識して行動しましょう。（生活部副部長）

ベルマークでボランティア

ベルマークをたくさん集めることで学校の備品を購入できるということは、よく知られています。では、ベルマークで寄付ができるということを皆さんは知っていますか？これは、『寄贈マーク』と呼ばれ、被災地の学校が、必要な備品を購入するなど、支援に役立ててもらうことができます。

地震や津波、台風に加え、近年では集中豪雨など、自然災害が発生する件数は年々増加傾向にあり、2016年に起きた熊本地震では、900校以上の学校が、被害を受けました。『寄贈マーク』は、誰にでもできるボランティアです。本部では、2月24日まで、各学年の職員室前に回収ボックスを設置し、ベルマークを集めます。お菓子の箱や、調味料が入っている袋など、捨てる前にベルマークがついていないか、確認してください。その一手間で、誰かの役に立てるのです。2月は、寄贈マークで愛を届けましょう。（副会長）

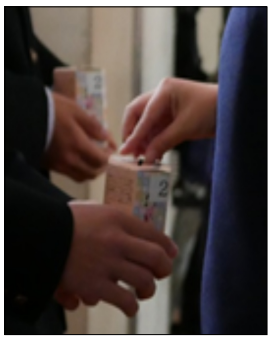
たけおかSDGs

4 質の高い教育をみんなに

Take Action

12月に行われた赤い羽根共同募金では、皆さんのご協力により、学校全体で12409円を鹿児島県共同募金会に送ることができました。集まったお金は、県内で高齢者や障がい者などを支援する活動などに使われます。また、今月、実施した書き損じはがきの回収へのご協力ありがとうございました。

家族や友達が困っているときに力になりたいと思う気持ちは誰にでもあると思います。しかし、困っている人が、たとえ見ず知らずの人であっても、協力しようと行動できる力こそが、生徒会が掲げる『踏み出す力』だと思います。誰かの役に立ててうれしく思ったり、今回の活動を通して気付いたりしたことを次の行動へとつなげていきましょう。（生徒会会計）



「読書啓発ポスター」
二年生生徒作品